

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本研究科では、本学の定める修士課程もしくは博士後期課程における修業年限以上在学し、次のような能力・資質を備えた上で、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位請求論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見を聴いて、学長が課程修了を認定します。</p>		<p>本研究科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような教育内容・教育方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>教育学・心理学・福祉学を統合した領域架橋の学問分野である臨床教育学の立場から、今日の対人援助に係る諸問題を解決する専門知識・能力・技能を修得するための系統的なカリキュラムを準備し、主として社会人を対象として開講しています。</p> <p>大学院学生は研究指導担当教員の演習科目を必修としますが、他分野・他領域の科目群も履修することで、学際的な知識や視点、複合的視点からの問題解決力などの修得を目指します。</p> <p>学位請求のための論文指導については、問題意識、方法、オリジナリティを確認し、明確な研究課題の決定、研究計画の作成など、研究をまとめ論文を完成させるために必要な指導助言を行います。</p> <p>標準修業年限を超えて履修することができる長期履修学生制度により、修学上の多様なニーズにも配慮します。</p> <p>教育課程全般を通じて、実践的場面との関係性を意識した、問題解決型の教育方法を行い、学生の理解を高めるとともに、将来にわたって研究を継続する基本的な考え方を形成します。</p> <p>修士課程、博士後期課程ともに発表が義務づけられている、研究発表会などのプレゼンテーションを通じて、知識を統合し、質疑応答する能力を形成します。</p>	<p>本研究科では「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な知識や技能、意欲を備えた人を求めます。</p>
1. 知識・理解	1-1	専門とする「臨床教育学」「臨床心理学」「教育学」の分野における専門的な知識を備えている。	
	1-2	関連する領域における諸問題とその基礎的な知識を理解している。	
2. 技能・表現	2-1	専門とする分野からの視点でデータを読み解き、分析する能力を備えている。	
	2-2	自分の研究について、他の専門職の人にも理解されるようなプレゼンテーション力を備えている。	
3. 思考・判断	3-1	高度な専門的知識に基づく応用的問題解決力を備えている。	
	3-2	関連する領域における諸問題を批判的に分析する能力を備えている。	
4. 態度・志向性	4-1	現場で生じる様々な問題に関して、複合的視点で解決案を提案できる。	
	4-2	研究を将来にわたって継続し、研鑽を重ねることができる。	